

- 問1 宮崎県などで盛んな、温かい気候を利用して、季節を早めて作物を育てる栽培方法を何という？
- 問2 崩れやすく浸食されやすい性質を持つシラス台地において、大雨の際に発生する恐れがある災害を何という？
- 問3 1914年の大規模な噴火により、桜島が地続きになった半島を何という？
- 問4 福岡県北部に位置し、かつて日本の重化学工業の発展を支えた日本四大工業地帯の一つを何という？
- 問5 桜島が位置している、鹿児島県の湾を何という？
- 問6 阿蘇山周辺に見られる、火山活動によってつくられた土壌を何という？
- 問7 周囲を陸地に囲まれ、海水が入れ替わりにくいため、環境保全が強く求められる水域を何という？
- 問8 長崎県などに見られる、海岸線が複雑に入り組んだ地形で、天然の良港が多く作られる地形を何という？
- 問9 宮崎県や鹿児島県にまたがる、険しい山々が連なる地域を何という？
- 問10 有明海の豊かな栄養分と潮位差を利用して行われる、日本一の生産量を誇る養殖産業を何という？
- 問11 九州南部に広がる、水はけが良すぎて稲作には不向きな火山灰質の土地で行われている農業を何という？
- 問12 大都市の近くで、消費者のニーズに合わせて野菜や花などを栽培する農業形態を何という？
- 問13 九州地方において、経済や交通の中心地として発展しており、政令指定都市にも指定されている福岡県の県庁所在地を何という？
- 問14 大分県の山間部で見られる、急な斜面を切り開いて作られた階段状の田んぼを何という？
- 問15 熊本県で栽培が盛んな、畳の材料として使われる植物を何という？
- 問16 江戸時代、幕府が長崎に設けた貿易の窓口を何という？
- 問17 熊本県で、豊富な地下水を活用して工場が多く集まっている、集積回路などの電子部品を何という？
- 問18 鹿児島湾に浮かび、現在も活発な火山活動を続けている有名な火山を何という？
- 問19 鹿児島県の種子島にあり、日本のロケット打ち上げなどを行っている施設を何という？
- 問20 大分県で活用されている、地下の熱を利用して電気を作る発電方法を何という？
- 問21 かつて九州地方において、アジアとの外交や防衛の拠点として設置された官庁を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 促成栽培	促成栽培は、ビニールハウスなどを利用して保温し、作物の生育を早めて通常よりも早い時期に出荷する技術です。ピーマンやキュウリなどの野菜生産において非常に大きな成果を上げています。
問2	答え 土砂災害	そのため、特に梅雨の時期や台風の通過時に激しい雨が降ると、地盤が緩んで崖崩れや土石流といった土砂災害が引き起こされます。このため、住民の命を守るための避難計画や、治山・治水対策が非常に重要視されています。
問3	答え 大隅半島	1914年（大正3年）に起きた大噴火では、凄まじい量の溶岩が流出しました。この溶岩流によって、それまで海峡であった部分が埋め立てられ、桜島は東側に位置する大隅半島と物理的に繋がりました。これにより桜島は島ではなくなった経緯があります。
問4	答え 北九州工業地帯	福岡県北九州市を中心とした地域で、鉄鋼業を核に機械工業や化学工業が盛んです。かつては日本の産業を牽引する中心地として繁栄し、日本の近代化に多大な貢献をしました。
問5	答え 鹿児島湾	鹿児島湾は、火山活動が活発な桜島を中央に抱え、北側にはカルデラ地形を持つ独特の湾です。海の中にも火山の根があるため、独特の海洋環境が形作られています。地質学的には「錦江湾」とも呼ばれ、古くから海上交通の拠点として活用されてきました。
問6	答え 火山灰	これらは火山灰と呼ばれ、堆積すると土壌となります。阿蘇山周辺の広大な土地には、この火山灰が厚く堆積した層が広がっています。火山灰土壌は水はけが非常に良いという特徴がありますが、一方で養分を保持しにくいいため、古くは肥料を工夫するなどの努力が必要でした。
問7	答え 閉鎖性水域	このような場所を閉鎖性水域と呼びます。河川から流れ込む生活排水や肥料成分などが蓄積しやすく、赤潮の発生や水質の悪化が起こりやすい特徴があります。そのため、環境を守るためには周辺自治体や住民が協力して汚染を減らす努力が不可欠です。
問8	答え リアス海岸	長崎県の海岸で見られる特徴的な地形であり、入り江が深く入り組んでいます。山が海に落ち込んでいるため平地は少ないですが、入り江は波が穏やかであるため、古くから天然の良港として船の停泊に利用されてきました。
問9	答え 九州山地	九州山地は、宮崎県と鹿児島県の県境付近に広がる山脈で、九州の「屋根」のような存在です。地形が非常に険しいため平地が少なく、人々の居住地は主に沿岸部に集中しています。
問10	答え 海苔	この独特な環境を利用して、支柱を立てて網を張る「支柱式養殖」などが盛んに行われており、海苔の生産量は全国でもトップクラスを誇ります。
問11	答え 畑作	この地域では、その土地の性質を活かして、水不足の影響を受けにくいサツマイモ、ダイコン、お茶などの栽培が盛んに行われています。これを総称して畑作と呼びます。
問12	答え 近郊農業	大都市近郊で、鮮度が重要な野菜や花などを生産する農業形態です。輸送コストを抑えられるだけでなく、需要に応じた生産計画が立てやすく、効率的な販売ができる利点があります。長崎県などでも、温暖な気候を活かして都市部向けに生産が行われています。
問13	答え 福岡市	政令指定都市に指定されており、九州の政治・経済・文化の中心的な役割を担っています。特に福岡空港が市街地から近く、交通の利便性が非常に高い点や、アジア諸国に近い立地からビジネスの拠点として重要視されています。
問14	答え 棚田	棚田は、階段状に配置された水田であり、雨水を貯めて地下水を守ったり、土砂崩れを防いだりする多面的な機能を持っています。大分県の山間部では、この棚田を活用して米作りが行われています。
問15	答え い草	い草は、畳の表面を覆うゴザの部分に使用される植物です。熊本県はい草の国内生産シェアの大部分を占めており、特に八代地方での栽培が有名です。
問16	答え 出島	江戸時代の長崎港内に作られた扇形の人工島です。後にオランダ商館が置かれ、鎖国中でありながらオランダとの貿易の窓口として唯一機能しました。西洋の医学や科学技術などがここから日本へ伝えられ、近代化のきっかけとなりました。
問17	答え 半導体	半導体は、現代のスマートフォンや自動車、コンピュータなどの家電製品に欠かせない電子部品です。熊本県には大手メーカーの工場や関連施設が集中しており、シリコンアイランドと呼ばれる九州の中でも特に重要な拠点となっています。
問18	答え 桜島	桜島は、かつては島でしたが、過去の巨大噴火で溶岩が流れ出し、大隅半島と陸続きになりました。火山活動が非常に活発で、日常的に噴煙を上げている様子は、この地域を象徴する光景となっています。
問19	答え 種子島宇宙センター	種子島宇宙センターは、ロケットの発射実験や人工衛星の打ち上げを行う日本の宇宙開発の中核施設です。海に面しているため、ロケット打ち上げの際にも安全が確保しやすく、地理的に非常に適した場所にあります。
問20	答え 地熱発電	地熱発電は、地下から取り出した蒸気の手でタービンを回して発電する仕組みです。環境に優しく、天候に左右されずに安定して発電できる再生可能エネルギーとして注目されています。
問21	答え 太宰府	現在の福岡県筑紫野市付近に置かれた官庁で、西海道（九州）を統括する行政機能と、海外からの使節を迎える外交機能、そして九州の防衛機能を持っていました。特に「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれ、非常に重要な役割を果たしました。